

商工観光労働企業委員会 県内所管事務調査の概要

【令和2年7月16日（木）】

◆調査箇所：株式会社ホックス（日出町大字川崎）

<概要>

株式会社ホックスでは、会社概要（グループ企業、組織、設備）についての説明を受け、工場内の見学及び意見交換を行った。

同社は、1982年に創業、ISO13485などの認証を取得しており、今年の5月に本社工場を現在地に移転し、婦人用電子体温計などの医療機器の製造やハードウェア、メカトロニクスなどの開発・製造を行っている。

JIT-EMSにより、少量多品種、変種変量、変更頻繁、短納期にフレキシブルに対応し、徹底した3S、ワンプラットフォームの導入などを通じてSQCDを提供している。

<主な質疑等>

- ・機器の製造体制について



◆調査箇所：株式会社松秀（別府市上人ヶ浜町）

<概要>

株式会社松秀では、会社概要（経営体制）や新型コロナウイルス感染症による影響などについて説明を受け、潮騒の宿晴海、ガハマテラスの見学を行った。

同社は、1988年に松秀別館青海を開業、潮騒の宿 晴海として増築リニューアルオープンし、高級感のある落ち着いた宿作りで個人宿泊客をターゲットとした誘客を行っている。

<主な質疑等>

- ・新型コロナウイルス感染症による影響について
- ・今後の誘客の見通しについて



◆調査箇所：大分県旅館ホテル生活衛生同業組合（別府市上田の湯町）

<概要>

大分県旅館ホテル生活衛生同業組合では、大分県の宿泊者の状況や新型コロナウイルス感染症による影響及び九州各県の状況などの説明を受けた。

同組合は、組織活動の強化による経営の近代化と誘客活動を積極的に展開するため活動しており、大分県観光に欠かせない魅力的な宿泊施設づくりの一端を担っている。

今年度は、県とともに宿泊施設感染症対策チェックリストを作成し、旅館ホテル応援割を実施するなど、安心して旅行できる環境づくりに取り組んでいる。

<主な質疑等>

- ・新型コロナウイルス感染症による影響、対策について
- ・今後の誘客施策について



◆調査箇所：こうまつ循環器科内科クリニック（日出町）

<概要>

こうまつ循環器科内科クリニックでは、ICT関連のシーラス・コンサルティングと協力し開発した、新型コロナウイルス対策用陰圧監視システムについての説明を受けた。

同システム導入により、医療環境モニタリングIoTプラットフォームでゾーニング区域間の気圧差を感知・可視化でき、24時間体制で汚染空気の除去をクラウドから監視することが可能となる。ウィズコロナ環境での先端技術活用の一例である。



【令和2年7月21日（火）】

◆調査箇所：JOY VILLAGE株式会社（豊後大野市清川町）

<概要>

JOY VILLAGE株式会社は、昨年設立され、滞在拠点となる「宿泊」を通じて、ジオパーク・エコパークに象徴される同市の雄大な自然、豊富な食材などの地域資源の活用を行い、地域観光の玄関口となるため、今年4月から宿泊施設「ロジきよかわ」の指定管理者となった。

運営メンバーは全員が同市へ魅力を感じたUターン・Iターンの移住者であり、地元出身の方の協力も得ながら情報発信を行い、着々とインバウンドのファンも増やしている。



<主な質疑等>

- ・施設整備の状況について
- ・宿泊客の状況について

◆調査箇所：竹田市城下町交流プラザ（竹田市竹田町）

<概要>

竹田市では、竹田市都市再生まちづくり基本計画等を策定し、中心市街地における都市機能の増進及び経済活力の向上を総合的かつ一体的に推進し、電線類無電柱化の実施やPFI定住促進住宅の建設など、城下町の「価値の再生」に力を入れているとの説明を受けた。

竹田市城下町交流プラザは、建築家・隈研吾氏が設計を行った今年度オープンの交流拠点であり、社会福祉活動やイベント、ギャラリー、展示会などの活用を予定している。



<主な質疑等>

- ・施設概要について
- ・電線無電柱化後の景観について

◆調査箇所：竹田市歴史文化館・由学館（竹田市竹田町）

<概要>

竹田市歴史文化館・由学館は、竹田市城下町交流プラザと同じく建築家・隈研吾氏が設計をしており、歴史や文化に関する資料を収集・保存・公開する社会教育施設として、旧歴史資料館の跡地に今年10月にオープンを予定している。

岡城跡と旧城下町を一つの大きなミュージアムと捉え、まちづくりと融合しながら、旧城下町エリアの新たな観光交流拠点としての役割も期待されている。



◆調査箇所：天空の展望公園（竹田市久住町）

<概要>

竹田市から、天空の展望公園の施設概要の説明を受け、施設見学を行った。

天空の展望公園として整備された「あざみ台園地」は、旧久住町が整備し、平成5年から展望園地として活用されてきたが、平成27度より閉鎖していた。

県補助金を活用して、日本一の大パノラマと謳われる阿蘇五岳を眺む観光交流拠点として、世界的に活躍しているDRUM TAOとコラボした野外舞台を持つ展望公園の再整備を行い、今年8月にオープンした。



【令和2年7月22日（水）】

◆調査箇所：宇目サテライトオフィス（佐伯市宇目）

<概要>

佐伯市では、県補助金を活用し、平成30年・平成31（令和元）年の2か年で旧保育所を改修してサテライトオフィスを整備し、令和2年1月から供用を開始した。

現在は、ECサイトの制作運営等を行う「グース株式会社」と、動画バナーの制作等を行う「株式会社殿（しんがり）」のいずれも東京都に所在地を持つ2社が大分県での拠点として同施設を使用している。



<主な質疑等>

- ・エコパーク等観光との連携について

◆調査箇所：大地酒造株式会社（佐伯市上浦）

<概要>

大地酒造株式会社から、会社の概要についての説明を受け、今年オープンした新工場の施設見学を行った。

同社は、明治18年に創業し焼酎や日本酒の製造を行ってきたが、後継者がおらず廃業の危機にあったところ、商工会等の支援もあり、平成30年に市内で酒店を営む現代表者へ事業承継を行った。

新工場では、新商品の日本酒「花笑み」の製造を行っている。



【令和2年8月6日（木）】

◆調査箇所：企業組合都松地区特産品振興会（臼杵市野津町）

＜概要＞

企業組合都松地区特産品振興会では、平成27年に都松地区振興協議会を設立し、旧都松小学校を改修して事務室を整備、また県や市の補助金を活用して特産品開発を実施してきた。

平成29年にはエゴマ搾油所を新設して、企業組合化し、エゴマ油や黒ニンニクは、市のふるさと返礼品に指定されている。



＜主な質疑等＞

- ・エゴマ油の用途について
- ・雇用形態、生産量について

◆調査箇所：株式会社坂井建設（大分市中戸次）

＜概要＞

株式会社坂井建設は、1961年に坂井建築として創業し、現在では住宅事業を基軸に不動産やIT関連事業等へ領域を拡大し、「感謝・誠実・革新」を理念に、地域密着大分県No.1を目指している。

世代比率では20代以下の若い社員が約7割を占め、独自の人事評価制度を確立するなどの職場環境の改革を行うことで働きやすい職場づくりを実践し、昨年度は、おおいた働き方改革推進優良企業として表彰されている。



＜主な質疑等＞

- ・人事評価制度について
- ・職員の体制、会社の業務内容について

◆調査箇所：株式会社江藤製作所（大分市乙津町）

＜概要＞

株式会社江藤製作所では、会社概要について説明を受け、工場内の見学を行った。

同社は、1971年江藤酸素株式会社の極厚鋼板の精密溶断工場として創業、レーザープラズマ精密溶断部門・化工機製造部門・精密板金塗装部門と事業を拡大してきた。

さらに近年ではFA機器の設計・製作においても実績を重ね、その高い技術力から、観測衛星「てんこう」の開発に参加するなど、豊かな品質を保証している。



＜主な質疑等＞

- ・航空関連事業について